

せみとぼく、この夏のへんか

天草市立本渡東小学校 2年 宮崎 大夢

1 研究のきっかけ

7月、おじいちゃんの家で庭で、セミの幼虫を見つけた。お母さんの友だちの家の壁で、抜け殻も見つけた。いつセミになったのだろうと思った。見つけた幼虫がセミになるのが、楽しみになった。セミが幼虫から成虫になるまで変化の様子を見てみたいと思った。

2 研究の方法

セミの幼虫を家に持ち帰り、虫かごの中や植木鉢の植物の上で変化の様子を観察する。

ア 虫かごの中 (①土だけ、②土と短い棒)

イ 植木鉢の植物

3 研究の結果

ア 虫かごの中①		ア 虫かごの中②		イ 植木鉢の植物	
19:00	幼虫を発見 家に連れて帰る	5:00	土の上で殻を 脱ぎ出す 棒に登る	19:00	植木鉢に入れる
8:00	殻を脱ぎ出す			7:00	特に変化なし
9:00	動きがゆっくりになる			18:00	変化することなく 死んでしまった
14:00	殻を脱ぎ終わる ↓ 死んでしまった			6:00	セミになっていた
		6:00	羽は曲がったまま まで飛べない ↓ 死んでしまった		

- (1) 土だけの虫かごの中では、殻をうまく脱げずに死んでしまった。
- (2) 虫かごの中に短い棒を入れたら、羽を広げるところまではいったが、曲がったまま死んでしまった。
- (3) 変化することなく死んでしまったのは、初めから弱っていたのかもしれない。
- (4) 植木鉢の木に登ったのは、無事にセミになった。

4 研究のまとめ

- (1) セミの幼虫は、木の上で変化することで、羽をきれいに伸ばして乾かすことができるし、夜のうちに殻を脱ぎ、朝には飛べるようになっていくことが分かった。
- (2) 観察した幼虫のほとんどが死んでしまって、悲しかった。大人のセミになることはすごいことなんだなと思った。
- (3) セミの成長の仕方に驚いた。ぼくも、去年と比べて身長が伸びていた。これからも、命を大切にしようと思った。